

平成27年度函館市節電チャレンジモニター集計結果

1 節電効果（家全体の電気使用量）

モニター期間の2ヶ月間の電気使用量を前年度と比較したところ、節電効果は、使用量473kWh、料金12,596円、CO2排出量323kg-CO2、削減率5.0%でした。

1世帯あたりの平均では、使用量32Wh、料金840円、CO2排出量22kg-CO2となり、この取組みを1年間継続すると、使用量192kWh、料金5,040円、CO2排出量132kg-CO2の節電効果が期待できる。

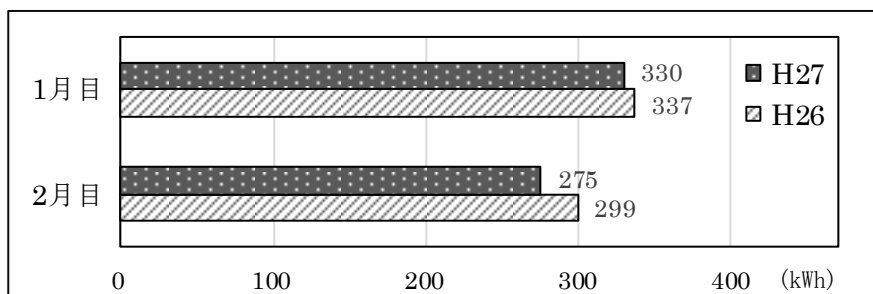
なお、第1期の削減率が低い要因は、モニター世帯における節電行動が既に定着していたことが影響したものと考えられる。

	電気使用量実績値						節電効果			削減率 (%)
	H27 (kWh)			H26 (kWh)			使用量 (kWh)	料金 ※1 (円)	CO2 排出量 ※2 (kg-CO2)	
	1月目	2月目	合計 (A)	1月目	2月目	合計 (B)	差(B-A)			
第1期	1,469	1,339	2,808	1,486	1,336	2,822	14	373	10	0.5
第2期	3,477	2,781	6,258	3,563	3,154	6,717	459	12,223	313	6.8
合計	4,946	4,120	9,066	5,049	4,490	9,539	473	12,596	323	5.0
平均	330	275	604	337	299	636	32	840	22	

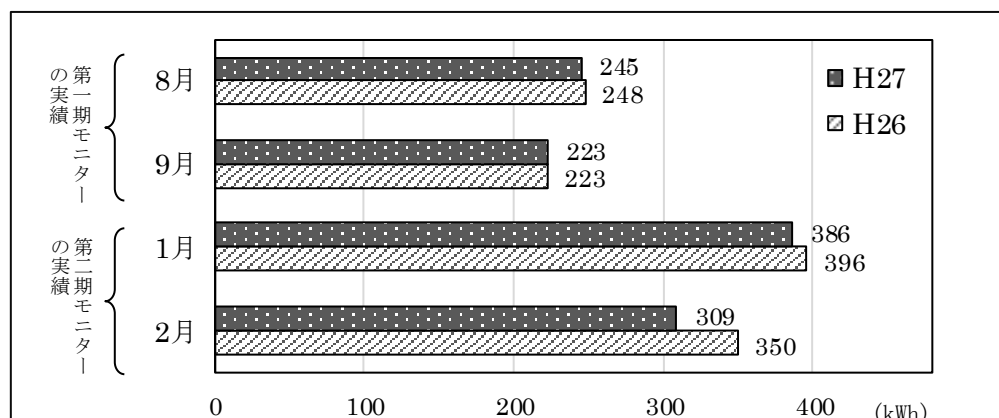
※1：料金の積算は、各モニター期間の北海道電力の従量電灯電力量料金の120kWh・280kWhまでの平均値1kWh=26.63円を用いた。

※2：CO2削減量の積算は、北海道電力の最新(集計時)の実排出係数1kWh=0.683kg-CO2を用いた。
※端数処理の関係で合計が一致しないことがある。

電気使用量（平均）



各月の電気使用量（平均）



主な節電行動（参加世帯が実践した主な節電の取組み）

主な節電行動	取組み世帯数		
	第1期 (世帯)	第2期 (世帯)	合計 (世帯)
照明の点灯時間を短くする。	7	8	15
待機電力の削減する。	6	4	10
テレビを見ていない時は消す。	1	6	7
冷蔵庫に物を詰め込まない。	2	2	4
冷蔵庫の無駄な開閉はしない。	1	3	4
テレビの音量明るさを調節する。	1	0	1
パソコンを使わない時は電源を切る。	1	0	1
扇風機の運転時間を短くする。	1	0	1
エアコンの運転時間を短くする。	1	0	1
炊飯器の保温時間を短くする。	1	0	1
除湿器の使用時間を短くする。	1	0	1
シャワーの使用時間を短くする。	1	0	1
室温は 20℃にする。	0	1	1
掃除機の強弱を使い分ける。	0	1	1

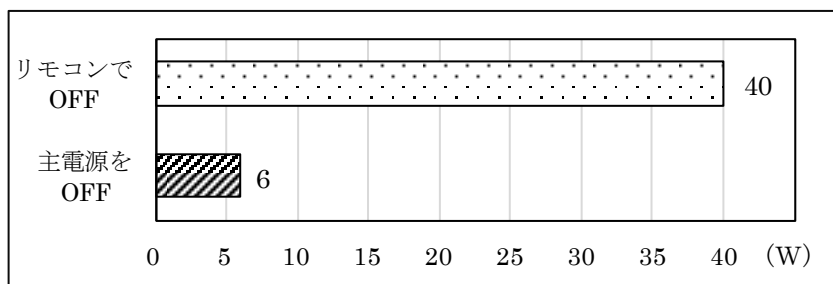
2 主な家電製品の消費電力

節電の参考とするため、主な家電製品の待機時と使用時の消費電力を、家電製品型電力測定器で測定してもらったところ、測定結果は次のとおりとなった。

待機時の電力（平均）

テレビの待機電力は、リモコンで OFF にするより主電源を OFF にした方が、平均で約 34W 消費電力が少ない結果となり、外出時や就寝時等の長時間使用しない時間帯は、主電源を OFF にすることで節電効果が期待できる。ただし、15台中4台は、消費電力がほぼ同じ結果となっており、機種によっては、違いが生じない場合もある。

取組品目	取組台数	リモコンで OFF (W)	主電源を OFF (W)	待機電力の差 (W)
テレビ	15	40	6	34

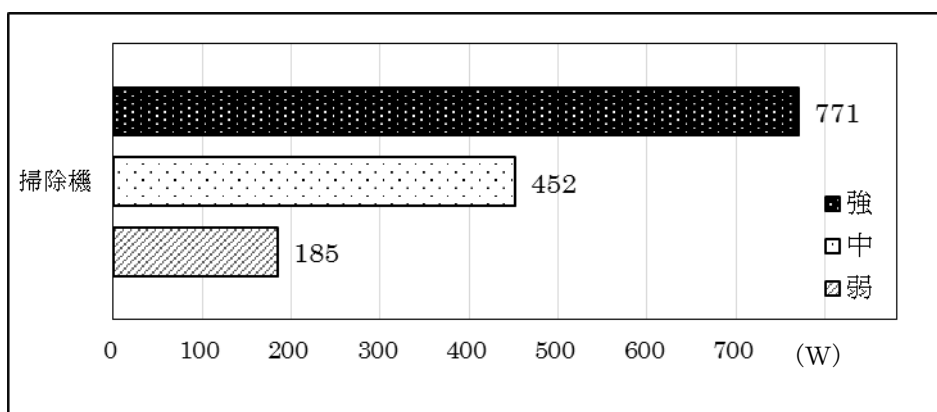


使用時の電力（平均）

掃除機の使用時の電力は、強さによって消費電力が大きく異なる結果となり、必要に応じて強さを調節することで、節電効果が期待できる。

なお、電力使用の気になる家電製品を自由に選択し測定してもらったところ、空気清浄機やドライヤーも強弱の調節により大きく消費電力が異なるなどの節電の参考となる報告があった。

取組品目	取組台数	強さ：強 (W)	強さ：中 (W)	強さ：弱 (W)
掃除機	13	771	452	185



3 意識して取り組んだ省エネ行動や感想

○冷蔵庫は詰め込まないで、すぐ取れるように位置を決め入れた。

○照明の点灯時間は豆球でも見える時は豆球を利用している。

○レンジは電気を多く使うので使用しない、ドライヤーも使用しないでタオルを使用している。

○テレビをプラズマから液晶にしたい。

○照明をLEDにしたい。

○説明会をやって欲しい。

※第1期モニターの意見で、第2期は希望者を対象に説明会を実施した。

○1日の冷蔵庫の開け閉め回数を調整。意識して開け閉めするよう心掛けたが多くなって驚いた（冷蔵庫39回、野菜室4回、冷凍室7回）。庫内の整理と開ける前に何を取るか考えることを習慣付けたいです。

○パソコン周辺の電気機器に熱がこもっているが、どれも抜けないので解決できないことが残念です。

○昨年同様に取り組んだが、電気使用量が多くなり残念だった。

- 冬期の暖房使用時もモニターに参加してみたい。
- ジメジメした天候の日が多かったため、洗濯物を干すために室内で除湿器を使う日が多く、思うように節電することが難しかった。転居で住環境が変わったことも一因と思われる。今後も記録を続けようと思う。
- 子どもが増えたので電力使用量も増えてしまったが、節電に取り組んだことで増加を抑えることができました。
- どの家電がどれくらい電気をつかっているかがわかって良かったです！
- 省エネできるようにしたいです。
- 参考になりました。
- 実施に努めた主な節電行動の他に、本当に見たいときしかテレビをつけない、可能な限り照明をつけない等を行った。やはりモニターを設置することでどの家電が電気を多く消費するのか等が分かり、より節電に努めたいと思うことができたのでとても良かった。
- 日中無人になる時間帯のトイレの便座や炊飯器を中心に気をつけました。電力が見えるのは楽しく、娘の冬休みの自由研究にもなりました。
- 消費電力量の大小を知ることができ、的確な節電ができた。電気代がかなり安くなってびっくりしてます。
- 前半は来客があり昨年より若干使用量が上がりましたが、それなりに節電に協力出来たと思います。
- テレビは見ない時に電源を切るなど未使用機器の電力を抑えるようにした。
- 電力量が見えると省エネしようとするので楽しかった。
- 機器を使用、メーターが動くのを見て、テレビはつけっぱなしにせず、見たいものだけ見るようにしました。また、8時前に洗濯、掃除、調理の下ごしらえをするように心がけました。機器使用で電気代への意識が高まりました。
- 1月目は来客があり家族が増えた生活であったが、2月目は通常の生活となり最低限の消費電力に努めた。
- できるだけテレビ、炊飯器などは待機電力を削減する様に心がける。
- 初めて、前年よりも使用量が減ってうれしい。(3回目の挑戦)モニターを試してみたい人はもっといるはずなので、もう少しPR方法(募集方法)を検討した方が良いを思います。(今までは、このモニターについて知っている人はわずか)
- 子供達も一緒に楽しく取り組みました。

【モニター実施概要】

- 1 モニター期間 第1期：平成27年8月1日（土）～9月30日（水）
 第2期：平成28年1月1日（金）～2月29日（月）

- 2 モニター実施世帯数 18世帯（第1期9世帯，第2期9世帯）

- 3 モニター内容
 分電盤設置型（家全体）1台と家電製品型（家電製品毎）2台の2種類の電力測定器を利用して，家庭の電気使用量を「見える化」しながら節電に取り組んでもらい，モニター終了後にモニター期間の各月の電気使用量（電力会社の伝票で確認）および主な家電製品（テレビ，掃除機等）の電気使用量の測定結果等を報告してもらった。

- 4 集計方法
 各月の電気使用量については，前年度同月の使用量と比較を行うため，当該年および前年度の対象月電気使用量を確認できて，世帯人数の増減などの大幅な生活環境の変化が無い15世帯を集計対象とした。